

Ichi Ikeda / Special Talk

7/19(日)
4:00 PM~

日本人のためのエネルギー計画

=日本のアート文化が「未来」を射る時=

池田一が語る。

(内容の一部)

文化沙漠と言われる日本で、アート文化のインフラは？

*芸術資金、国際交流基金、助成財団、企業メセナ、ACC等との実績から

歴史を創る一端を担うのか、「今のアート文化」の実情？

*アークアイブ、AAA@香港、フランク・リン・フアーネス@USAでの体験

政治・経済の現実支配構造ではない、「文化のネットワーク」？

*国際的ネットワーク、「アジア・エッジ」の広域展開等

水脈列島ならではの想像力。未来へのパスベクタイプ？

*上野不忍池全体を使って環境アートプロジェクト(東京都からの要請)

日本に居て、日本から出るどこへと向かうのか？

*限界集落を「地球の家」に変容させる「村丸ごとアート」プロジェクト

アースアートは地球意識のプラットフォーム？

*香港・鹿児島での「水市場プロジェクト」で評価される地球意識

環境アート教育のモデルとなるアースアートの展開？

*米国の中学校から特別招待、川口でのモデル展開等

文化アイデンティティを求めて水上文明圏へと伸びる？

*東京文化という一極集中ではない、「アジア海流文化圏構想」の実践

リアルな未来像を具体的に共有するために、世界各地での実践例を画像や動画を豊富に使って紹介します。

そして、スペシャルトークの最後に、参加者募集の共創プロジェクトを発表します！

『地球環境アート』+『ネットワーク』+『日本人のためのエネルギー計画』etc.

Mt.Fuji Earth Art Project waterhenge

あなたは、自立の”水柱”。
『未来』に向けて、勢いよく
自噴しませんか！

【富士山ウオーターヘンジ(環状水柱群)】2026~

「ストーンヘンジ」から
「ウオーターヘンジ」へ

「ストーンヘンジ(環状列石)」は、代表的な先史時代の遺跡である。確かに西欧文明の象徴かもしれないが、主柱に支柱が巧妙に組み合った構造、この絶妙な従属関係が「石の文明が水の文明を凌駕した歴史」を想起させる。少なくとも、水脈列島上に生存するものとしては、頑迷なストーンヘンジ的な構造よりも、自由で民主的な繋がり、ネットワークの構造を追求したい。「ウオーターヘンジ」は、日本から世界に発信する未来へのリアルな指針でありたい。



プロジェクトの詳細は
トーク当日の発表です。
乞うご期待！

水脈列島の象徴として
富士山・湧水ネットワーク

水脈列島の日本から世界に発信する絶好なプラットフォームとして、富士山の水系がある。富士山の斜面にしみ込んだ水は数10年かけて移動して、山麓での湧水となる。富士山を取り囲む湧水のサークルからは、一日の総湧水量500万トン余りと言われる地下水が常に湧き続けている。富士山という自然の長大な時間と、人間の営みの時間がスパークする「湧水の水柱」群が、未来に向けて自在なネットワークを形成する。『富士山・ウオーターヘンジ』は、世界への未来羅針盤となるかー。

池田一 Ichi IKDEDA プロフィール

●1991 21回サンパウロ・ビエンナーレで、日本初のメインフロアでの展示(前回はヨゼフ・ボイス) ●1995 国連50周年記念アートカレンダーを構成する「世界の12人のアーティスト」に ●2008 NY国連本部での環境セミナー&展覧会に「世界の中の7人」として ●2012 上野不忍池全体を使っての環境アートを実現(東京都から依頼)など、世界のアースアート(地球環境アート)をリードするアーティストとして活躍。海外の国際展やアートプロジェクトへの招聘参加が相次ぎ、世界各地30都市、現地制作のアートプロジェクトは40近くになる。

コロナ禍以降は、世界にも例のない発想・展開から、「歴史を創る」をテーマに、出版作業に没頭。全16冊を刊行。今回発表の『富士山ウオーターヘンジ』は、今までの結集版とも言える。ぜひ立ち会っていただきたい。

なかのZERO

<https://www.nicesacademia.jp/zero/>

